

用語説明

形式収支	歳入総額から歳出総額を差引いた額。
実質収支	形式収支から、翌年度に繰り越すべき一般財源を差引いて計算した額。黒字か赤字かを判断する指標となる。
実質収支比率	実質収支を標準財政規模で除した指標。この比率が20%以上になると、赤字再建団体となる。
財政力指数	基準財政収入額を基準財政需要額で除した指標で、1以上となると、地方交付税不交付団体となる。数値が大きいほど、地方税の収入能力が高く、交付税への依存度が低いことを示す。
実質公債費比率	地方債の元利償還金およびこれに類似する経費を標準財政規模で除したもの。この比率が18%を超えると、地方債の発行に国の許可が必要となる。
経常収支比率	経常経費に充当した経常一般財源の割合。財政の弾力性を示す指標とされ、数値が小さいほど、財政的にゆとりがあることを示す。